

令和4年度秦野市在宅医療介護連携推進事業 第1回多職種研修会アンケート

開催日：2022年9月29日

集計日：2022年10月7日

参加者数	回答数	回答率
42	37	88.1%

1 職種

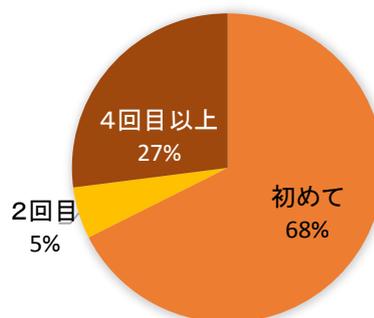
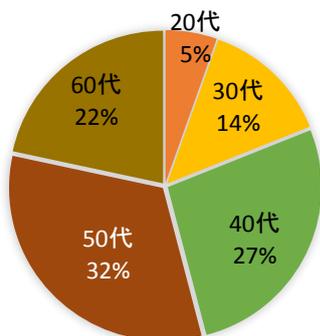
医師	歯科医師	薬剤師	看護師・保健師	介護支援専門員	社会福祉士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	介護福祉士	精神保健福祉士	MSW	管理栄養士
2	0	3	12	9	3	2	1	3	2	0	0	0

2 年代

20代	30代	40代	50代	60代	70代
2	5	10	12	8	0

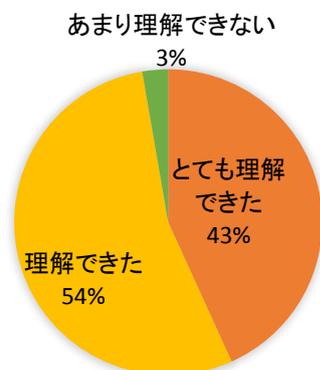
3 多職種研修会の参加回数

初めて	2回目	3回目	4回目以上
25	2	0	10



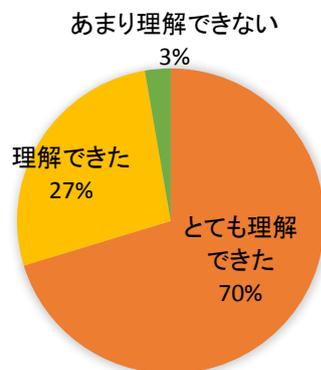
4 退院から在宅へ支援していく多職種の役割の理解

とても理解できた	理解できた	あまり理解できない	理解できなかった
16	20	1	0



5 退院支援において退院前カンファレンスの重要性の理解

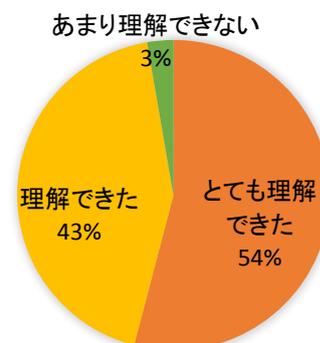
とても理解できた	理解できた	あまり理解できない	理解できなかった
26	10	1	0



6 それぞれの価値観や多様性を理解したうえで

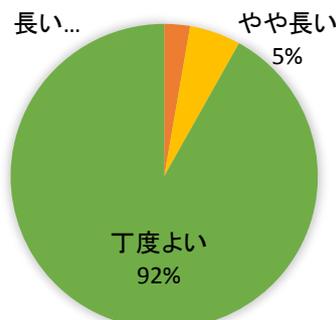
本人を尊重した合意形成を行う重要性の理解

とても理解できた	理解できた	あまり理解できない	理解できなかった
20	16	1	0



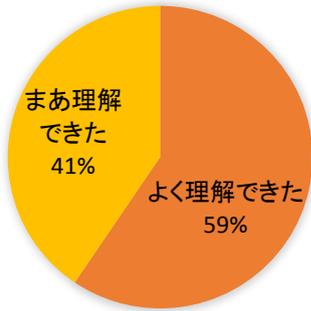
7 研修の全体評価としての時間について

長い	やや長い	丁度よい	やや短い	短い
1	2	34	0	0



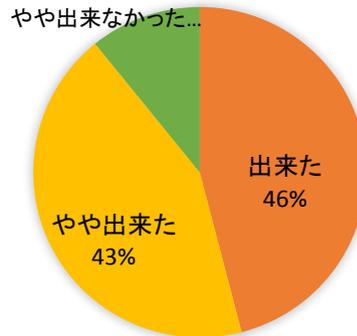
8 研修の内容について

よく理解できた	まあ理解できた	やや難しい	難しい
22	15	0	0



9 積極的に参加できたか

出来た	やや出来た	やや出来なかった	出来なかった
17	16	4	0



10 自由記載意見等

本人中心支援を考えると、30分のカンファは時間が短いように感じますが、振り返り時間を含めると模擬カンファとしては時間としてちょうどよかった。30分で終わることを目標とせずに、途中で終わることを想定してゆっくりおこなうこともできたと反省しています。実際の退院時カンファでは時間はどれぐらいかけているのか。(ファシリ担当者より)

それぞれの役割を分担してカンファレンスを行う、といった内容でしたが私個人としてはとても役立つ内容でした。こうした研修に、今後も参加したいと考えております。ただ職種によっては在宅のサービス内容について理解しづらい場面もあり、グループワークもうまく進まなかった場面も見受けられました。
 ・病院勤務の医療従事者には 在宅の介護サービスとその仕組みについて
 ・在宅のサービス事業者には 病院から行う退院支援とその仕組みについて
 といったことが学べる機会がそれぞれにあると、相互理解が深まるのではないかと感じました。ありがとうございました。

オンラインでしたが、近くに感じる事ができて非常に楽しかったです。準備や打ち合わせ等、大変だったと推察致します。ありがとうございました。また、次回参加できたらと希望します。

参加者の交流、親睦という点では意味がある研修だったと思う。

初めて多職種研修会に参加させていただきました日頃の仕事からは経験できない模擬カンファレンスを体験でき良い体験をさせていただきました今後の課題が見えてきたので仕事に役立てたいと思いました

【研修について】他職種を理解していない方がゆえに、演じることが出来ないという方がおられました。それは、立場や経験により当然の事と思います。他の職種を演じるメリット、デメリットは表裏一体と思います。その上で、あえて申しますと、やはり他職種を演じる参加形式には疑問が残りました。もちろん、収穫もありましたが、現状のプランを変更することは出来ないと思います。なので、まず、自分の普段の職種としてケースに対し、どういう意図で、どんな関わりをとるのか、それを他職種で共有できるよう工夫が必要だと思います。例えば、研修ラストはその職種の方が実際にどう捉えて、どんな関わりをするのかの情報を出すなど。演じた事に対するフィードバックの必要性を感じました。
 【アンケートについて】職種の記載について、一人しか参加がない職種でしたので、無記名とは言え、誰が書いているか理解出来てしまいます。可能な限り、無記名制で行うのであれば配慮をお願いしたいと思います。

次回の研修会では、ありふれた症例を対象とするのか、多職種の皆さんが全員悩んでしまうような困難例を対象とした方がよいのかご検討ください。

多職種協働、多職種連携と謳われて20年近くになりますが、以前、理想とする多職種連携がなされておらず、退院共同指導(退院前カンファレンス)といっても、単なる”多職種の集まり”となってしまうのが現状だと思います。色々な展開を進むその時々の方々のフェースにあった柔軟な連携が必要だと思っています。
 本研修へ期待することは、この事例が今後、色々な展開を進んでいくこと。また、自分の専門職種とは異なる役を演じて多職種への更なる理解と同時に、自らの専門職としての知識の不足さや視野の狭さを自己分析し、専門職として自らの様に高められるのかといったお題があることは、今までにない研修の取り組み方です。
 次回も楽しみに参加させて頂きたいと思っております。

コロナ禍でカンファレンスを行う機会が減少しているため、今回の研修は有意義だったと思います。色々な人が参加することで、職場内でもカンファレンスの重要性を共有できると感じました。

<p>ズームでのロールプレイも初めてで心配であったが、スムーズに出来て良かったです。関係者の方、ご苦労様でした。</p>
<p>医師会菊池様、事務局、作業部会等皆様ありがとうございました。不慣れなファシリでしたが、皆さんが役になり切る事でそれぞれの立場から、いつもと違った視点で体験でき、気付きの意見が多く聞けたのでとても良い企画だと感じました。個人的にもとても楽しんで取り組みました。またお互いの立場が分かると、カンファレンスの質も向上していけると思いました。お疲れ様でした。</p>
<p>今回は、退院前カンファレンスのロールプレイで、ケアマネとしてではなく、家族として参加しました。いつもと違う視点で、他の方々の意見を聞き、退院後の生活に対しての不安が軽くなるという家族の気持ちが少しわかったような感じがしました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。次回も楽しみにしています。今後どうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>ファシリテーターの方の進行から時間管理、まとめ、煮詰まったときのフォローまで、とても丁寧に行って頂いたおかげで、全員が積極的に発言し、その結果として得られるものが多くありました。具体的には、それぞれ専門職がカンファレンスにおいて知りたい視点の違いや、自分とは違う専門職を演じてみて、役割を振られたときの責任の重さの違いなど、次回のカンファレンスの際に活かせる内容ばかりだった。カンファレンスに薬剤師やリハのなどの視点が加わると、内容が広がると共に専門的な助言を通しサービスを組んでいけることに改めて気づかされました。</p>
<p>他の職種の方の見方や考え方を知ることができて勉強になりました。</p>
<p>知識を持たない他の専門職を演じるのは難しかったが、なかなかできない貴重な経験でした。自宅生活を支える福祉職にとって、今日の事例はしごく普通で、ましてや経済的に豊かなら言うことなしと思います。しかし、丸山先生の「『在宅は無理なのでは?』とってしまう」との率直なご発言は、多くのドクターの共通認識ではないのかと感じました。地域包括ケアシステムは、在宅生活を支える専門職が、私達の地域で「実現可能」であるケースを数多く目に見えるようにしていくことで、少しずつ地域で理解者を増やしていき、うまく機能させることができるのではないかと感じました。参加させていただき、ありがとうございました。</p>
<p>多職種連携を考える良い機会になりました。なかなか顔を合わせることが出来ない方ともお話が出来、様々な意見が聞けたのが良かったです。自分以外の人が何を気にして、どんな関わりをしているのか、自分との接点はどこか、考えることだらけでした。同じ秦野市で働く仲間として、もっと意見の言いやすい関係性を築いていきたいです。次を楽しみにしています。</p>
<p>他職種方のご苦労が少し理解出来たような会議でした、患者を中心に、職種が 変えても患者の為に、出来ることを考える方々は素晴らしいと思えました。</p>
<p>退院前の限られた時間の中で、いろいろな決め事をしていくのは、大変なことだとあらためて思いました。本人、家族が置き去りにならないように注意したいと思います。</p>
<p>初めてのzoom参加でした。役になりきり演じる難しかったですが、自分の普段の立ち位置を見れました。</p>
<p>退院前カンファレンスに初めて参加する者だからこそ、先入観なく色々発言させていただき多くのことを学びました。ありがとうございます。ご本人の意思だけでなく、それを支えるご家族の思いや、価値観を尊重し、在宅療養する環境を整える必要があると学びました。</p>
<p>学びの機会をありがとうございました。</p>
<p>大変有意義な研修でした。違う役割を演じることで、違う視点で考えることが出来て、とてもいい学びになりました。ありがとうございました。</p>
<p>自分の職種以外を体験する事で、違う視点と気付きを得る機会になりました。</p>